

公園拡張をきっかけとしたみんなで進める公園づくり



活動と 公園のデザイン特集

区民の熱い未来への想いを込めて 「住民協働の公園」へ、いざキックオフ！

5月21日に開催したキックオフミーティングには約100人の方々が来場し、区民や区職員による濃密で体感温度が上がる発表と設計者、有識者を交えたディスカッションが2時間30分にわたり繰り広げられました。区民が参画して作り上げた「世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどり」と歴史文化を区民の手で大切に育み、100年後も地域に愛される公園をめざす」という基本計画の想いを改めて地域へお伝えしました。そして公園の開園を見据えた今後の区民協働の取り組みの展望をより具体的に描く機会となりました。

区民有志 24 人による「推進準備会の設立宣言」

ハイライトは、区民による公園の利活用や運営参画を推進するための区民主体の組織立ち上げ宣言！有志24人による「玉川野毛町パークらぼ推進準備会設立宣言」は、会場から大きな拍手で迎えられ、「ともにつくる、ともにあゆむ公園づくり」の実現へ向かい、新たな挑戦が始まる気運が大いに高まりました。この宣言を受けた保坂展人区長は、「住民協働で議論ができるプラットフォームという基盤」への大きな期待と支援を表明しました。

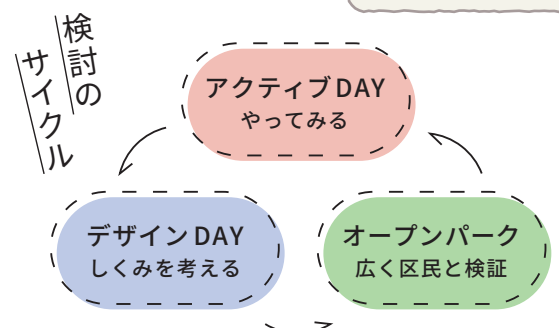
次ページへ続く>

玉川野毛町パークらぼとは？

「玉川野毛町パークらぼ」では、区民の皆さんと協働して活動を企画しやってみる「アクティブDAY」と、公園設計を考える「デザインDAY」、そして、拡張予定地を定期的に開放する「オープンパーク」を行いながら様々なプログラムを実践・検証しています。区民発意の取り組みを現地で行い、公園の利活用や運営のしくみを考える新しいスタイルの公園づくりにチャレンジしています。

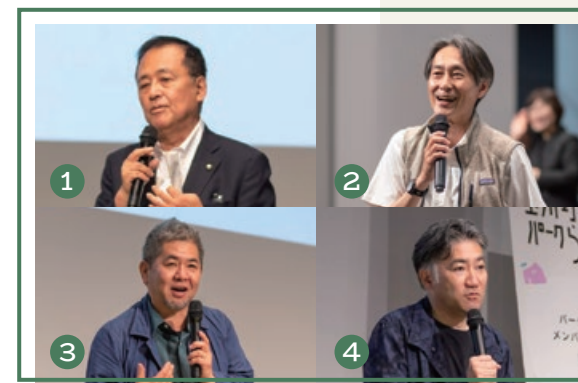
パークらぼメンバーの
登録者数は
約300名になりました！

令和5年発足
推進準備会



キックオフミーティングで見えてきた、 「つくりこまない、住民協働型公園」へのチャレンジと先進性

- ① 保坂区長は、供用開始前からの準備期間の長さが「互いの違いを丹念な話し合いと実証の繰り返しで乗り越える、という循環をつくった」と評しました。
- ② 坂倉教授は「行政だけではできないことを住民が実現する方法を考える。こういう小さな経験の先に公園の住民協働がある」として、関係性やコミュニティをつくる目に見えない「無形資産」の積み上げに大きな称賛を送りました。
- ③ ランドスケープデザイナー(公園設計監修者)の忽那氏も「利活用や運営のチームづくりを開園前から始めている全国初の取り組み」との驚きを示しました。
- ④ 建築設計者の遠藤氏は、様々なパークらぼの活動を踏まえて「多様で柔軟な使い方ができる建築計画」を目指したとし、住民と協働することで寛容な公園づくりの仕組みが作れることに期待を寄せました。



- ① 保坂展人区長
- ② 東京都市大学 坂倉杏介教授
- ③ 忽那裕樹氏 (公園設計監修者)
- ④ 遠藤克彦氏 (建築設計者)

コンセプトブック 編集会議

利用者一人一人が生き活きとした時間を過ごせる公園をつくるために
大切にしたい価値観をみんなで検討しています。



現在玉川野毛町パークらぼの取り組みとして、公園での活動の拠り所となるべき、コンセプトブックを編集しています。編集にあたって、多くの区民の皆さんにご参加いただき、100年後も地域に愛される公園であるためにどのような公園でどのような活動を行うのか、活発に議論していただいています。その一部、「16の理想の公園像」をご紹介します。

01 いつもいつまでも、 100年後地域に愛される公園	02 ワクワク感がある公園	03 交流がある公園
04 自由な公園	05 地域性、歴史を感じる公園	06 さまざまな機会がある公園
07 深い関わりができる公園	08 チャレンジができる公園	09 学べる公園
10 だれにとっても居心地がいい公園	11 災害時に役に立つ公園	12 子供が大切にされている公園
13 豊かな自然を感じる公園	14 余白がある公園	15 人が環境を育む公園
		16 住民協働で運営される公園

コンセプト編集会議開催中！

玉川野毛町公園パークらぼでは、コンセプトブック編集会議の参加者を随時募集しています。

皆さんも未来の公園のあり方を一緒に作りませんか？

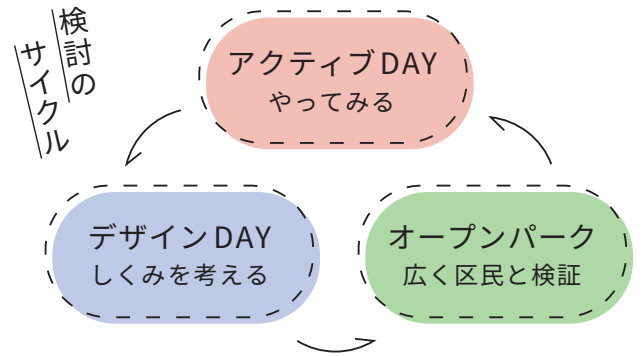
コンセプトブック編集会議へのご参加は、6ページをご覧ください。



やってみて〇〇がわかった

経験的学習がもたらしたパークらぼの進化

玉川野毛町公園パークらぼの取り組みの特徴は、アクティブDAY、デザインDAY、オープンパークの各取り組みをぐるぐる回して、話し合いと実験を繰り返していきながら、気づいたりわかったことを次に繋げていくことです。これまでの取り組みで経験的学習したことをご紹介します。



1本のコナラから始まった協働の森づくり



拡張予定地に唯一1本、どんぐりを落とすコナラの樹木がある。パークらぼメンバーの提案によって、このコナラを発端に「拡張予定地で武蔵野の雑木林を育てる」ことを目指した“どんぐりプロジェクト”が生まれた。樹木の根元に落ちたどんぐりの芽生えをポット苗にし、成長させた苗木を植樹してみどりを育てていくプロセスをスタート。実際にアクティブDAYやオープンパークで来園した区民にポット苗を持ち帰って育ててもらい、成長した苗木を拡張予定地に植樹するという工程を経て、少しずつ仲間とみどりを増やしていった。また、収集したどんぐりで子ども向けの工作などの遊び体験も行い、活動を多くの人に周知した。そうした活動の積み重ねによって、地域住民で育てる“協働の森”の公園設計へと繋がった。区民が主体性を持って立案し、賛同が集まることで実現にこぎつけることができた、という経験から主体的に取り組むことについての学びが得られた。

やってみてわかることがたくさんある

ヤギを公園に連れてきてみたいというパークらぼメンバーが現れた。最初は草刈りに役に立つのではないかという思いつきが動機だったが、緑を保全したいという他のメンバーの存在や安全管理などの課題から反対意見も多数聞かれていた。しかし、実際に一度拡張予定地にアクティブDAYの機会に連れてきたことで発見したことはたくさんあった。まず、こんなにヤギが愛らしくまた多くの人を惹きつけることを皆が初めて知った。懐疑的なメンバーも含めて、生き物のふれあいを多くの方々が求めていることをメンバーが気づいた。



また、やってみないとわからないことがある、ということもメンバーが気づいたことも大きかった。やる気のあるメンバーをいかに受け入れて支えるかをメンバーが考えるきっかけとなった。

Interview

ヤギから始まるエトセトラ

ヤギの実験は「やってみる」ことの大切さを改めて気づかせてくれました。ヤギの活動をリードするパークらぼメンバー大山さんにお話を聞きました。



パークらぼの活動に参加したのは割と遅かったのですが、私のやってみたいという気持ちに事務局が話を聞いてくれて、スタートしました。活動にこぎつけるまで紆余曲折がありましたが、やってみて気付かされたことがたくさんありました。

今ではヤギの活動を見て、私もやってみようと思っただけの人が出てきたのは嬉しいこと。研究職の私にとって失敗はつきもの。安全は最優先ですが、失敗を恐れずチャレンジすることを通して、身近な公園の環境をよくしていきたいです。

公園のカタチ



環境の資産をいかし、 みどりを育むデザイン

設計をされた忽那さんに
「公園のカタチ」の特徴について
お聞きする連載です

既存樹木をいかした空間づくり



玉川野毛町公園の拡張事業では、豊かなみどりや歴史文化を区民の手で大切に育み、100年後も地域に愛される公園づくりを目指しています。

拡張予定地は、かつて国土交通省の官舎があった場所です。官舎時代に植栽された木々が大きく育ち、ここならではの景観をつくっています。また、古墳を背景とした原っぱの空間や、冬の晴れた日に見える富士山への軸線など、木々の他にも貴重な資源が残されています。

拡張事業では、古墳をランドマークに据えた公園の顔となるエントランスや原っぱの空間、既存樹木をアイストップとしたアプローチ空間など、公園の特徴となる資源をいかした公園づくりを行います。

また、おおらかなマウンド地形の造成や既存の高低差をいかすことで、区道で分断された公園敷地の風景のつながりをつくとともに、公園の素材となる既存資源をいかし、地形の操作によって回遊時の風景の変化（シークエンス）を演出するなどの工夫を行います。

パークらぼでは、どんぐりから苗木をつくり将来の森を育てる活動や、堆肥や土づくりなど自然の循環を考える活動、公園の自然観察を通じた環境の移り変わりを把握する活動など、区民の多様なみどりへの関わりが進められています。区民の想いでもある「つくりこみすぎない公園づくり」を体現するため、既存の環境をいかし、みんなでみどりを育む公園づくりを行います。



ランドスケープデザイナー、
まちづくりプロデューサー
忽那裕樹さん

玉川野毛町公園拡張事業の
公園設計監修者(株)E-DESIGN
代表取締役、クリエイティブ
ディレクター

活動履歴



4/2(日)13(木) 第20回アクティブDAY

伐採予定の拡張予定地のサクラのDNAを新たに整備する公園につないでいくために樹木医と挿し木を行いました。成長過程を見守っていきます。



サクラの挿し木

4/21(金)22(土) 第6回オープンパーク

2回目の春を迎えたどんぐりプロジェクトでは、前回のオープンパークで参加者が持ち帰ったどんぐりから育てたコナラの苗木を拡張予定地に植樹。森づくりを進めました。



コナラの苗木の植樹

5/7(日)11(木) 第21回アクティブDAY

キッズパークでは外国人も大人も子どもも楽しめる“公園でできるあそび”の企画会議。おそと遊びの日では、青空のもとで大型絵本などの読み聞かせを楽しみました。



外国のあそびをヒアリング。子どもたちと1つずつ実現へ。

5/21(日) キックオフミーティング

パークらぼの活動がスタートして一年半。これまでの活動を広く区民のみなさんに発表するとともに、開園後を見据えた区民主体の組織の準備会が立ち上がりました。



区民主体の運営組織の立ち上げに向けて

6/4(日) 8(木) 第22回アクティブDAY

写真講師と一緒に、拡張予定地とその周辺で実際に写真を撮り、魅力的な作品づくりや情報発信の方法を学びました。作品写真はSNSで発信。



写真講座の様子

6/10(土) 第1回コンセプトブック編集会議 / 第1回パークらぼ推進準備会議

パークらぼの活動理念、大切にしていきたいこと、目指すことを広く伝えるコンセプトブック。その編集会議が始まりました。パークらぼの区民組織立ち上げに向けた推進準備会議もスタート。



区民同士で意見交換

7/2(日)13(木) 第23回アクティブDAY

生き物調査活動では、活発になり始めた昆虫たちを中心に観察しました。



拡張予定地の笹竹で七夕飾り

7/15(土) 第2回コンセプトブック編集会議 / 第2回パークらぼ推進準備会議

今までの活動や話し合いから「こんな公園にしたい」という16のテーマをまとめ、テーマごとに「理想の公園」に向けた取り組みについて話し合いました。また、推進準備会議では、区民組織のあり方や運営について話し合いを進めました。



グループワークの発表でみんなの想いを共有

8/5(土) 第14回デザインDAY

玉川野毛町パークらぼを伝える-コンセプトブックを考える

公園管理者である世田谷区、区民として公園利用者でもあるパークらぼメンバー。各々の立場やルールを確認しながら、今後の開園に向け、活発な意見交換を実施。終了後は、推進準備会議の幹事会も行い、今後の具体的な運営に向けて話し合いました。



忽那氏、坂倉教授を交えて課題を共有

8/6(日) 第24回アクティブDAY

チーム循環は、拡張予定地西側入口のウェルカムガーデンお手入れとメンバーのスキルを活かしたこれからの活動に向け話し合いました。



真夏も涼しい木陰で青空ヨガ

9/3(日)14(木) 第25回アクティブDAY

ウェルネス、キッズ、生き物調査の3つのプロジェクトがコラボし、拡張予定地の植物や生き物観察会を実施。「これは食べられるの？」など普段は出ない質問も登場!



パークらぼのロゴ入りワッペンを制作

9/9(土) 第3回コンセプトブック編集会議 / 第3回パークらぼ推進準備会議

「こんな公園にするために、私たちが守るべきこと」「パークらぼを象徴するキーワード」を皆で考えました。推進準備会では、会の活動を可視化し、今年度における会議の持ち方をまとめました。



推進準備会議は区民による司会進行

9/28(木) 虫の音を楽しむ会

2年目を迎えた「秋の虫を聞く会」。夕方の拡張予定地に集まって虫の音のシンフォニーに聴き入りました。



たくさんの親子が集合

＼どなたでも参加できます！

今後の予定 ※開催詳細はホームページをご覧ください。

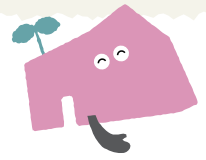


すべて
参加費
無料

アクティブ DAY 毎月第1日曜日と第2木曜日 場所：拡張予定地

パークらぼ立上げ時のワークショップで皆で考えた7つのテーマにそって生まれた、様々なプロジェクトが活動を積み重ねています。どなたでも、いつからでもご参加いただけるアクティブDAY。興味のあるプロジェクトへの参加はもちろん、新たなプロジェクトを立ち上げることもできます!!

10/14(土)デザイン DAY 10:00~12:00 場所：二子玉川分庁舎



第4回コンセプトブック編集会議

開園に向けた組織設立や運営を念頭に、活動や取り組みの拠り所となる内容について、話し合いを重ね、コンセプトブックをまとめています。※参加にはパークらぼ推進準備会への登録が必要となります。

【玉川野毛町パークらぼ推進準備会とは】

区民による公園運営への参画の準備を進めるため、話し合い、まとめています。今年度内には正式な区民組織を立ち上げることを目標に、現在約50名の区民が参加し、定期的な会議を持ちながら準備を進めています。

事前申込み必要 / 締切：開催3日前まで（先着50名）

参加ご希望の方は、件名を「10月14日デザインDAY参加希望」として、お名前をお書き添えの上、玉川野毛町パークらぼ事務局までメールをお送りください。parklab@nogemachi-parklab.com

10/14(土)スペシャルアクティブ DAY 15:00~18:00 場所：拡張予定地

秋の夕暮れを楽しむ拡張予定地開放イベント。ロープワークと火起こし体験、カセットコンロで玄米炊き、キャンドルナイトヨガ、トワイライトJAZZ コンサートなどを実施予定です。

11/17(金)、18(土)オープンパーク 10:00~16:00 場所：拡張予定地

毎年、恒例の秋のオープンパーク、黄金色のイチョウに囲まれた拡張予定地の秋の美しさを堪能いただけます。アクティブDAYで現在行なっている様々な活動の紹介パネルの展示や、溪谷・古墳の散策ツアーに紹介コーナー、秋のパークラン、青空ヨガ、etc...。キッチンカーもやっています。※荒天順延12/3(日) 10:00~16:00

玉川野毛町公園拡張予定地



⚠️ 荒天時の開催の有無については、前日午後「玉川野毛町パークらぼ」ホームページ・インスタグラムに掲載します。プログラムなどの内容は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

パークらぼメンバー募集



パークらぼでは、常時メールマガジンでの情報を希望者にお届けしています。配信をご希望の方は、玉川野毛町パークらぼ事務局までご一報ください。

パークらぼメンバーへの参加は、右の二次元コードよりお申し込みください。

二次元コード



参加申し込み

【パークらぼに関する問合せ】

玉川野毛町公園拡張事業 協働の公園づくり 玉川野毛町パークらぼ事務局
メール：parklab@nogemachi-parklab.com 電話：070-3165-7750
(平日 10:00~16:00)



ホームページ



Instagram

【玉川野毛町公園拡張事業に関する問合せ】

世田谷区みどり 33 推進担当部公園緑地課 建設担当 電話：03-6432-7910

www.nogemachi-parklab.com

Instagram @nogemachi_parklab